

星 CLUB YOKOHAMA

星くず

2008 年 1 月号



Vol. 217

目次

12月例会議事録	2
初めての花立	3
月探査衛星「かぐや」とわが家の夢	5

表紙画像 合宿にて

星 クラブ横浜 会報 星くず Jan.2008 Vol.217

初めての花立

四月一日

参加メンバー：遠藤、岡、早川、吉田、四月一日

今回の遠征は天気予想が日替わりで変わり幹事役としてはどうしようか悩んだのですが、副会長の「新年会やろうぜ」の力強いひと言で催行することに決しました。

天候に関する話題はメーリングリストにもかなり見受けられました。(原文を掲載)

1月5・6日・・・(天気に関しての言及なし)

1月9日・・・連休中の天気はどうやら今一つの模様です

1月11日・・・ちょっと天気も持ち直し気味だし、もしかするともしかするので

1月11日・・・明日雪を降らせるという低気圧が通り過ぎた後には大陸から高気圧がやってきそうです

1月14日・・・薄雲が広がり天気は今一つでした

結果をつい書いてしまいましたが、そうなんです。

中途半端なお天気でした。

常磐道を走行中はかなり期待できそうな雰囲気だったの

ですが、現地は高層に薄雲が残り透明度も今一つでした。

前日から泊まっていた別のグループのお話では、昨夜は

雪が降ったとのこと。そう言えばログキャビン北側のデッキには雪が残っていましたね。



そのような状況だったため、8P タットル彗星は薄雲に邪魔され様子を見るどころか、存在そのものも分からない状態。17P ホームズ彗星も、吉田さんのテレビュー76にXL40の組合せ(実視界 5.4 度)で、かなり拡散した状態がようやくうっすらと確認できる程度のレベルでした。という訳で観望会の報告は以上です。



これからは 2008 年度第 1 回新年会の報告に移りたいと思います。

事前のアンケートで鍋になることは決まっておりました。



最初は海鮮鍋



仕上げにうどんを入れてみました

どうも副会長が参加すると、星クラブではなく食クラブになる傾向が強い気がします。

さて、観望会とは名ばかりで食べては飲むの繰り返し。で、その結果は？



食べて



こうなりました



飲んで

おじさん達の生命力をなめてはいけません。次の日にはちゃんと復活！



以上かなり手抜きの報告書でした。
(おしまい)

月探査衛星「かぐや」とわが家の夢

都都逸

先日、わが家の14インチブラウン管テレビの音声が突如として出なくなった。仕方なく流行りの薄型テレビ(但し家が狭いので20インチで十分大画面)に買い換えた。これを機にわが家も遅ればせながら「アナログからデジタルの時代」に仲間入りすることになった。それにしてもハイビジョンの映像は美しい。映像だけでも感動ものだ。

ハイビジョンといえば、先日月探査衛星「かぐや」から送られてきた月の表面と地球の映像を見たが、「素晴らしい。」の一言だ。(導入がやや強引だが)月から見た星で一番美しいのは間違いなく地球だと思う。

ところで、この「かぐや」を打ち上げる前にJAXA(宇宙航空研究開発機構)で『セレーネ「月に願いを」』というキャンペーンを行っていたのをご存知だろうか?(因みにセレーネは「かぐや」に決まる前のネーミング。)内容としては、自分の願いを用紙に書きJAXAに送ると、日本初の本格的月周回衛星となる「かぐや」にプレートとして貼り付けてくれ、一緒に月を廻るといふものだ。私は当時の勤務先近くにあったJAXAの広報室でこれを聞きつけ、早速わが家の夕食時に「願い事をこれに書くと人工衛星と一緒に宇宙まで行くだよ。」と話し、父親としても家族にいい企画を提供したと内心悦に入っていた。

それに対して家族の反応は、

息子「すっげー！」

娘「それが月を廻るとどうなるの？」

妻「阿呆くさっ。」

一部を除いては、極めて冷めた反応。「まったく、だから女性の宇宙科学者は少ないのだ。」と勝手に決め付けながら、息子に対して「こういう阿呆らしいロマンが科学を発展させるんだ。」とぶつぶつ言っていたが、息子はキョトンとしていた。

結局、息子と私そして強制的に書かせた娘のメッセージをJAXAに送り、「かぐや」はこうした41万人の「いろいろな想い」を乗せて今も月を回っている。

ところで、お前は何を書いたのかって？

それは恥ずかしくて言えません。「男のロマン」ですから。

(了)

星 クラブ横浜 会報 星くず

2008年1月27日発行 通巻 No. 217号

発行 星 クラブ横浜

発行者 綿貫博孝